



西野正人

ハッキリ言います! 市政にひとこと!



連絡先/〒191-0011 日野市日野本町6-9-1 TEL 042-582-4381/FAX 042-582-2866

HP: <http://www.nishino1.com/> E-mail: nishino@eco.ocn.ne.jp

9月議会にて平成26年度一般会計・特別会計決算を審査

■18億8千万円を持続可能な財政運営を目指して財政調整基金等に積立てました

第3回日野市議会定例会（9月議会）が1日より29日まで開会されました。今議会では、平成26年度一般会計決算・特別会計決算が審査され、認定されました。今回、私は特別会計決算特別委員会にて審査をさせて頂きました。

さて、平成26年度の一般会計決算の歳入は約603億円 歳出は約584億円 歳入差引額約18億8千万円となりました。この歳入差引額は色々な課題のある施策に使うべきではないかという意見もありますが、借金の返済や、万が一の時のために財政調整基金等に積立をしました。



平成26年度の主な施策の成果を紹介します!

日野市発達・教育支援センター「エール」開設

子どもが
輝くまち

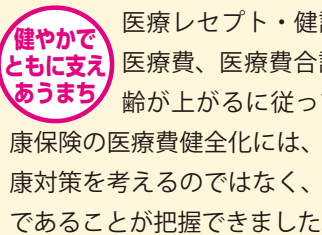


発達に不安を抱えている子どもを支援するため、福祉・保健・医療・教育各分野の関連機関が連携し、ライフステージに応じた、切れ目のない支援を適切に提供することを目的に、日野市発達・教育支援センター「エール」が、旭が丘の「夢ふうせん」に隣接して、4月に開設されました。

発達に不安を抱えている子どもを支援するため、福祉・保健・医療・教育各分野の関連機関が連携し、ライフステージに応じた、切れ目のない支援を適切に提供することを目的に、日野市発達・教育支援センター「エール」が、旭が丘の「夢ふうせん」に隣接して、4月に開設されました。

レセプトデータの活用によるデータヘルスの推進

健やかで
ともに支え
あうまち



医療レセプト・健診データを分析し、1人当たり医療費、医療費合計と全被保険者数はいずれも年齢が上がるに従って上昇していることや、国民健康保険の医療費健全化には、現在の被保険者のみを対象に健康対策を考えるのではなく、日野市民全体の健康増進が必要であることが把握できました。次年度は、分析結果をもとに、データヘルス計画を策定し、市民の重症化予防や健康寿命の延伸による国民健康保険財政の健全化に取り組んでいきます。

防災マップ・洪水ハザードマップの改訂

安全で
安心して
暮らせる
まち



平成25年度の「日野市地域防災計画」修正に伴い、避難所・避難場所の指定変更、土砂災害危険箇所及び防災情報等を記載した「防災マップ・洪水ハザードマップ」を改訂し、市内に全戸配布を行ないました。日野市のホームページからもご覧いただけます。

平成25年度の「日野市地域防災計画」修正に伴い、避難所・避難場所の指定変更、土砂災害危険箇所及び防災情報等を記載した「防災マップ・洪水ハザードマップ」を改訂し、市内に全戸配布を行ないました。日野市のホームページからもご覧いただけます。

防犯カメラの設置及び運用に関する条例等の制定

安全で
安心して
暮らせる
まち



近年、犯罪が多発しつつある中、市民の安全を守る「街頭防犯カメラ」の設置に向けて条例を制定しました。制定に際しては、市庁内関係課で構成される調整会議や日野市生活安全協議会での検討・協議を経て、パブリックコメントを実施し、幅広い意見を取り入れました。

市有財産活用推進事業（多摩平下水処理場跡地売却など）

参画と
協働の
まち



多摩平下水処理場跡地



多摩平市立病院跡地



万願寺6丁目31番地市有地

未売却の市有地に加え行政財産の見直しを行い、売却可能な財産は積極的に売却し財源確保に努め、多摩平下水処理場跡地の売却や多摩平6丁目市立病院跡地の土地活用計画を進めました。また、万願寺6丁目31番地の市有地については、平成28年4月より事業用定期借地権で貸し出す事業者の決定も行ないました。

広報活動事業

参画と
協働の
まち

7月1日号より「伝える」から「伝わる」広報（よりわかりやすく・親しみやすく・読みやすい広報）を目指して誌面を刷新し、サイズもA4判全面カラーの雑誌型に切り替え、全戸配布方式としました。

■万願寺第二地区・東町地区の区画整理について

それぞれの区画整理事業の進捗状況について。中央高速道路の日野バスと多摩都市モノレールの連携について。当該地域の多摩川堤防整備と水害対策について。市民の森ふれあいホールの底地について。桑ハウスの問題について質問しました。

市
答
弁

- 万願寺第二地区は平成 26 年度末現在で 48.8%、完了年度は平成 35 年度末だが適宜延伸する必要がある。東町地区は平成 26 年度末現在で 50.2%、完了年度は平成 36 年度末だが適宜延伸する必要があると考えている。
- 高速バス利用者の駐輪は敷地内に駐輪している。モノレールと高速バスの連携は関係団体と検討会を実施し、モノレール全駅構内に日野バス停の利便性をうたったポスターと時刻表・乗換経路図を掲示している。
- 区画整理地内の立日橋から中央線鉄橋までを平成 26 年度に国交省と協力して整備を行なった。今後、基盤整備を進めることにより堤防を改良してゆく。日野橋南詰の浸水想定 2m 以上の地域は、区画整理と国のスーパー堤防により低地部は解消されている。立日橋南詰の浸水想定 1m 未満の地域は、造成工事により解消する予定である。
- ふれあいホールの底地が区画整理の保留地である問題は、5 年間で市へ売却する計画である。
- 桑ハウスは PFI 活用事業の検討も行なったが事業は困難と判断、耐震性の問題もあり、今後の活用を市民や市民団体と検討する。

- 地権者の立場からは早く終えて欲しいのが本音です。適宜延伸などと言わず前向きな姿勢をお願いします。
- モノレールと高速バスとの連携を、区画整理にあわせて工夫をし、利用・活用すべきです。
- 堤防整備は国交省の情報をつかんで段取りよく行なうべきです。もともと東町地区の区画整理の原点は、狭隘道路の解消と雨水対策です、区画整理をやって、ゲリラ豪雨等で水が溜まるのでは困ります。
- 保留地の上に市の施設が建っているのはいかがかと思ひます。借地料を払うなど適正に対応して頂きたいと思ひます。
- 桑ハウスは有効活用するのか解体して他の活用方法を考えるのか、新国立競技場と同様に早期の政治決断が必要です。



■日野橋の架け替えについて

架設からすでに 90 年が経過し、耐久性等が心配されている日野橋の架け替えについて質問しました。

市
答
弁

- 日野バイパスの開通に伴い、日野橋は国から東京都へ移管されている。平成 26 年度には、東京都により現況測量調査、架け替え計画検討を実施し、平成 27 年度には橋梁概略設計を行なっている。日野市では関係省庁と東京都に対し早期実現に向けて要請行動を行なっている。

- 日野橋は市民に愛される歴史ある橋です。市民の意見を取入れ、斬新的な観光の名所となる橋として頂きたいと思ひます。

■北川原公園整備、市道 C-2 号線の整備について

クリーンセンターへのごみ搬入路にあたる、北川原公園や市道 C-2 号線の整備状況について質問しました。

市
答
弁

- 新可燃ごみ処理施設建設後は、より住環境に影響の少ない多摩川堤からの搬入ルートとする予定である。新しい搬入路となる多摩川沿いの道路（市道 C-2 号線）は平成 27 年 1 月から工事を始めており、今年度中に 950m の整備を完了する予定であり、石田大橋から北川原公園経由のルートも公園整備にあわせ整備する。

- 私は搬入ルートの整備に関しては、周辺整備費を使うべきではないと思ひます。市民全体の公益に関する道路整備ですから一般会計で対処すべきです。これからの地元要望にしっかり応えるために周辺整備費を使って頂きたいと思ひます。

■日野市内の街路灯の状況、LED 化の利点、導入への考え、街路灯の防災対策について

街路灯の LED 化について、また災害時に停電しても照明が確保できる街路灯の整備等、町田市の事例を踏まえ質問しました。

市
答
弁

- 街路灯総数 11,994 基の内 LED は 349 基である。LED は省電力・長寿命であり、平成 26 年度から新設・修繕等で約 100 基を導入した。今後、環境省が支援する民間業者によるリース方式の導入を検討している。
- 民間企業と共同で開発した町田市の事例を参考に、市内産業の活性化にもつなげてゆきたい。

- LED 化についてはこれまでも実現に向け提言を行ってまいりましたが、実現すれば色々なことにも波及して行くと思ひます。良く検討して頂き、一気に実現できるよう知恵を絞って頂きたいと思ひます。